



とさしみず

ジオめぐり 「落窪海岸 みんな大好き！磯の貝もジオの恵み？」



きょうは落窪海岸に行ってきました。



やったー！貝とりに来たがやね！



清水のひとは4月になると一斉に貝をとりに来るよね。



貝とり大好き！ニナを塩ゆでにしたり、カメノテは味噌汁にしたり。あ、貝めしもおいしいがよ。



そうだね。でも貝をとりに来たのではありません。そもそも貝は、とっていい場所、いい時期、いい種類や大きさが決まっているから事前に確認しておこうね。今日ここに来たのは、落窪海岸がジオサイトの一つだからなんだよ。



そうなが？何か特別なものがあるが？



うん。ここは竜串海岸の岩よりも少し前にたまった地層だよ。潮が引くとギザギザの岩が見えてくるよね。



海に向かって左の方の松崎の辺りから右の方へ見てみて気づくことはあるかな？



うーん、左の方は黒っぽい岩が多くて広い磯になっちゃうね。右の方は崖が出ていて、黒い岩だけではなさそう。



すごい！そのとおりだね。岩の違いをちゃんと見分けている。



いろんなところに連れて行ってもろうたおかげやね。



じゃあ、海岸に下りて崖の近くで地層を見てみよう。近づいてみて気が付いたことは何かな？



白っぽくて分厚い地層があるよ。



いいところに気が付いたね。これは砂岩。松崎の方はほとんど泥岩で黒っぽい岩ばかりだけど、落窪のバス停あたりからはだんだんと砂岩の地層が増えてくる。これは砂や泥がたまってくるときの海の深さに関係があるんだ。



海の深さ？



日本列島が大陸から離れつつあった激動の時代、山地の方から大量の砂や泥が海に流れ込んできた。重い砂は陸に近いところで沈んでしまうけど、軽い泥は少し沖合のやや深いところまで流されてたまるんだ。松崎の黒っぽい岩の地層はそのような少し深い海の底でたまってできた。時間がたつとだんだんと埋め立てられてきて水深も少しずつ浅くなる。そうすると、普段は泥が静かに溜まっていたとしても、例えば嵐の時には陸から勢いよく流れだしてきた砂が溜まるようになる。落窪海岸で泥の層の間にある砂の層は、嵐の日に溜まった地層なんだよ。



夏になると梅雨や台風で大雨になるけど、大昔もそんな感じやったが？



うんうん。そんな感じ。で、落窪付近から砂の地層が目立つようになるので土砂がたまる環境がこのあたりから変わってきたと考えられているんだ。同じような地層が向こうに見える千尋岬まで続いているよ。その向こうの竜串とか爪白はさらに水深の浅い場所で、ほとんどが砂の地層になるんだ。



どんどん埋め立てて行っただがやね。すごい土砂の量！



そうだね。この海岸に立って、そういうスケールを感じて欲しい。こうして海の中でできた地層が、後に隆起し、海の上に出た。すると今度は地層が波や雨で削られるようになった。それで今見えているギザギザの岩場になったんだ。



貝はこのギザギザの間にたくさんおるがよ。貝のたくさんおる磯も、大地と関係しちやうがやね。



満潮になると海水に覆われ、干潮になると潮だまりができる場所だし、小さな隙間がたくさんあって小さな生き物にとって暮らしやすい場所なんだよ。貝だけじゃなく小魚やウニも見つかるかもね。

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎字今芝4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB

